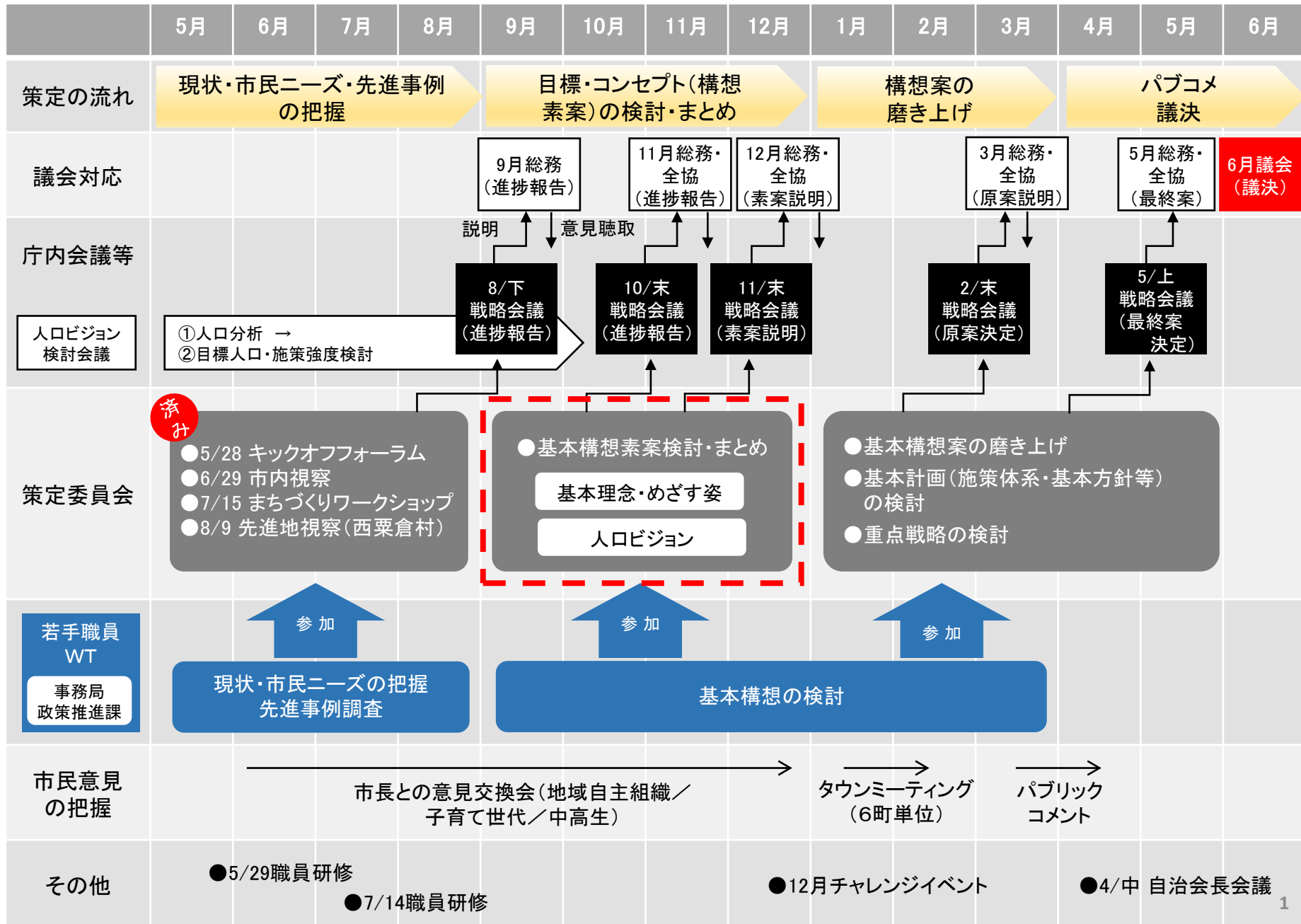
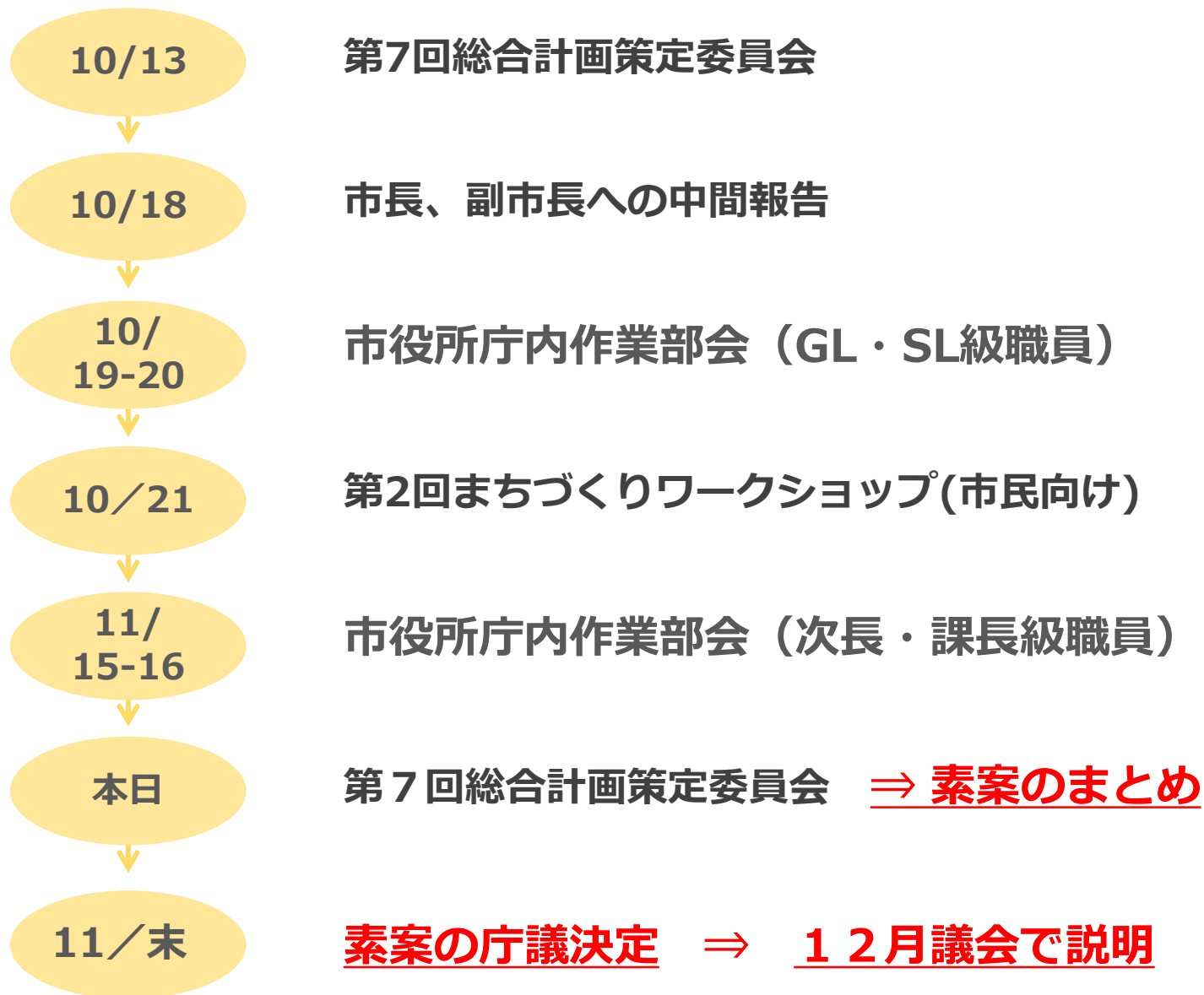


# 1. 第3次総合計画（基本構想）策定の流れ・スケジュール



日時		内容	詳細
第1回	5/28(日)	キックオフフォーラム (龍谷大学 深尾副学長) <span style="color:red">済</span>	・これまで(人口増→成長型社会)とこれから(人口減→定常型社会)は違う ・幸せのかたち、価値観の変化(働き方・暮らし方・教育のあり方が変わってくる) ・豊かな環境、資源の活用(農業など一次産業・エネルギーの地域循環)
第2回	6/29(木)	現状把握／市内視察 <span style="color:red">済</span>	・市政の現状把握 ・まちづくり(チャレンジ)の現場を見る
第3回	7/15(土)	まちづくりワークショップ (CPB 倉成英俊氏) <span style="color:red">済</span>	・アイデア出しワークショップ「雲南市はこれからどんな市になるの？」 (キーワード、キャッチフレーズの素材集め)
第4回	8/9(水) - 10(木)	先進地視察(西栗倉村) ワークショップ① <span style="color:red">済</span>	・先進事例を学ぶ(資源活用による仕事創出、脱炭素・デジタル化、官民連携、 人材誘致など) ・視察を踏まえて、「雲南でつくりたい未来」を考えてみる
第5回	9/1(金)	基本構想の検討 ワークショップ② <span style="color:red">済</span>	・人口ビジョン(目標人口)の考え方 ・基本構想についての意見だし
第6回	10/13(金)	基本構想の検討 ワークショップ③ <span style="color:red">済</span>	これまでの議論をまとめた“たたき台”をさらに深掘りする
第7回	10/21(土)	まちづくりワークショップ <span style="color:red">済</span>	基本構想の“たたき台”を市民へ共有し、意見をいただく
第8回	11/17(金)	基本構想素案のまとめ	基本構想の素案のまとめ
【12月議会へ素案提出・説明】			
	1/中～下	タウンミーティング	6町単位で、基本構想(素案)を説明し、意見をいただく
第9回	1/19(金)	基本構想原案の磨き上げ	
第10回	2/15(木)	基本構想原案の磨き上げ	
【3月議会へ原案提出・説明】			
	3/下～4/中	パブリックコメント	市民周知イベント(トークセッション)の開催
【6月議会にて議決】			

# これまでの流れ



## 3 - 1. 基本構想の構成

### 計画の構成

基本構想、基本計画、実施計画について、現行計画の位置づけを踏まえ、以下のように整理する。

区分	内容	期間	方針（案）	項目（案）
基本構想	雲南市の将来の目標及び目的達成のために必要な施策大綱を示し、まちづくりの基本指針を明らかにするもの。	10年	<p>市民が手に取り、読みたくなるもの。</p> <p>自分ごととして雲南市の将来を考えたり、行動するきっかけとなるもの。</p> <p>これまでの歩みを大切にし、新しい未来の創造を促すもの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市のこれまでとこれから</li> <li>● 基本理念・目指す姿</li> <li>● 人口ビジョン</li> <li>● 土地利用ビジョン</li> <li>● 基本目標（分野ごとの将来像）</li> </ul>
基本計画	基本構想で定めた雲南市の将来像を達成するために必要な施策・事業の基本的な考え方を示すもの。	5年	<p>施策の目的・目指す状態を市民の実感値として言語化。</p> <p>上記の実現に向けた行政として取り組む挑戦と目標値を言語化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の目的</li> <li>● 市の挑戦</li> <li>● 施策目標</li> <li>● 基本事業</li> </ul>
実施計画	基本計画で定めた施策を行財政の状況を踏まえてどのように実施していくかを定める年次計画。	1年	<p>政策評価、予算要求等に必要最低限の情報で構成。</p> <p>庁内での情報共有がスムーズに進むよう配慮。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施策の目的</li> <li>● 事業内容</li> <li>● 事業目標</li> <li>● 事業費</li> <li>● 担当部署</li> </ul>

### 3. 基本構想の検討



## ●見直し（案）

### ①まちづくりの将来像を全体で描く

- ・ これまでは5分野ごとに将来像があり、まちづくり全体の将来像（10年後の姿）が見えづらい。
- ・ 基本構想がめざす将来像を一本化して全体で描くことで、市民にわかりやすく伝えることができる。
- ・ 将来像は、図式化（イラスト化）するなど、わかりやすいデザインを用いる。

### ②分野ごとに基本目標を定める

- ・ めざす将来像の下に、これを実現するための分野ごとの基本目標を設定する。
- ・ さらに、基本目標を達成するための施策を、基本計画の中に設ける。

## ●見直しの意図

- ・ 行政計画から市民計画へ  
 これまでの行政計画として性格を改め、市民とともにまちづくりを進めていくための計画とする。
- ・ ビジョン（めざす姿）の共有を重視  
 そのためにも、10年後のめざす姿をわかりやすく示すことを重視する。

### 3. 基本構想の検討

#### 雲南市（37）

I みんなで築くまち	1 市民が主役のまちづくりの推進(37)
	2 移住・定住の推進
	3 市民と行政の情報の共有化
	4 男女共同参画の推進
	5 時代にあった行政サービスの実現
	6 職員の育成
	7 計画的なまちづくり
	8 健全財政の維持
II 安全・安心で快適なまち	9 都市・住まいづくりと土地利用の推進
	10 環境の保全・創造
	11 地域情報化の推進
	12 道路の整備
	13 公共交通ネットワークの充実
	14 上水道の整備
	15 下水道の整備
	16 消防・防災対策の推進
	17 交通安全の推進
	18 防犯対策・消費者自立支援の推進
III 支えあい健やかに暮らせるまち	19 地域医療の充実
	20 健康づくりの推進
	21 高齢者福祉の充実
	22 障がい者(児)福祉の充実
	23 生活困窮者の支援
	24 地域福祉の充実
	25 子育て支援の充実
IV ふるさとを学びつづめるまち	26 学校教育の充実
	27 生涯学習の推進
	28 青少年健全育成の推進
	29 平和と人権の尊重
	30 生涯スポーツの振興
	31 地域文化の振興
V 挑戦し活力を産みだすまち	32 起業・就業支援の充実
	33 地域資源を活かした産業の創出
	34 農業の振興
	35 林業の振興
	36 観光の振興
	37 商工業の振興

#### 【参考】松江市（18）

I しごとづくり	1 産業振興、起業・操業
	2 商店街活性化
	3 農林水産業振興
	4 観光振興
II ひとづくり	5 ワーク・ライフ・バランス、子育て支援
	6 教育
	7 共生社会、地域コミュニティ
III つながりづくり	8 人材育成・還流
	9 関係人口、副業・兼業人材
	10 歴史・伝統・文化・芸術
	11 スポーツ
IV どだいづくり	12 健康・医療
	13 自然・環境
	14 都市デザイン(水辺・公共交通)
	15 都市デザイン(まちなみ・公園)
	16 安全・安心、社会資本整備
	17 行財政改革、スマート自治体
	V なかまづくり

#### ●見直し（案）

#### ③施策体系の課題

- ・他自治体に比べて施策数が多く、詳細に記載されているため、まちづくりの方向性が分かりづらい。（法律に基づくもの、窓口業務など全て掲げている。）
- ・被災者支援やコロナ対応など突発的に発生する業務が施策外の扱いになるなど柔軟な対応ができない。
- ・記載のない事業が進まない傾向がある。

#### ④施策体系のスリム化

- ・基本構想に基づき、分かりやすい施策体系に見直す。
- ・施策を半分程度に統合・集約し、多様な施策課題に柔軟に対応できるようにする。
- ・できるだけ文字量を減らし、目標や方針等を分かりやすく記載する。
- ・まちづくりの方向性に関わらず通常行うべき業務（税務等）の記載は省略する。

#### ●メリット

- ・めざすべき方向性を分かりやすく示すことができる。（市民との協働を一層進める）
- ・部局横断的に柔軟な対応ができる。

#### ●デメリット

- ・詳細に記載しないことで、目標達成に向けて取り組む内容は、部局の判断が重要となる。
- ・1施策にぶらさがる関係課が多くなる。

## 3-2. 基本理念の検討

### 雲南市のこれから

#### みんなで、えすこに。

一緒に笑顔でやらいこい

なんか、えすこに

みんなでつくる村社会

がっしょでえすこ

お互いさま精神な町。

出逢いが連鎖する場所

#### 挑戦や応援を大切にする

挑戦二割たばこ八割

挑み学び続ける町

チャレンジとてごの町

今日の次を目指すまち

変わり変わらない街。

価値を作り伝える

てごをしますあなたのために

する場所

てばなしてつなげる

子どもが夢見る街

#### 安心、安全、楽しく暮らせる

ゆったり、優しい街

安心な食の街、雲南

安心して寝られるまち

ハハハと笑える街

みんなきらきら雲南市

湿度と笑顔が溢れる町

子どもがお辞儀する町

皆で終活楽しむ街

#### 原風景が残る

やまたのおろち♡

八百万のふるさと

おっちらと広がるまち

無限の雲が彩る街

原風景を感じるまち

日本の原風景が残る街

いつまでも田舎街

#### 憧れられる

せかいのうなん

雲南市ってどこ？って

のびしろのまち

隣まちが憧れるまち

羨ましがられる市

#### 個人や多様性が尊重される

変人育成と受容

オープンシティー

おいでよ 変人の森

だれもが大切にされ王様の多彩な原っぱ

#### みんなのふるさと

あたらしいふるさと

みらいのふるさと

きぼうのふるさと

みんなのふるさと人口減ならペット推し

生き返った田舎

循環するまち

シンプルイズベスト

### 3. 基本構想の検討

## 3-3. 将来像（10年後のめざす姿）の検討

### 目指す姿（アイデア）

移住者から住んで良かった  
と感じられるまち  
住みたいと思われるまち

雲南から全国の好きな企業で働ける

雲南から（いながら）世界で  
活躍する人材がいる

えすこにおせっかい

世界を変える  
世界が求める  
世界最先端のビジネスがある

まちの資源共同管理会社  
（空き家、耕作放棄地…）

都会の人が暮らして元気に  
なって帰っていくまち

まち全体で子育て

全市民兼業

えすこ大学開校。世界から入学者！

くらしが良くなっている実感  
（医療・教育・インフラ・福祉  
→見える化）

旅人の聖地

大人がキラキラ輝いている

安心して死ねる  
まち

雲南にいたら、  
好きなこと、社会貢献が、  
お金になるよね～

日本一教育の選択肢が  
多い田舎  
（社会教育日本一）

男女が出会え  
るまち

一人一畑

田舎の自然の中で保育留学。  
保護者はリモートワーク

エネルギーや食の  
地産地消

完全自給自足  
（エネルギーも！）

お年寄りの学校。年を  
重ねても誰かと一緒に  
いられる安心感

・子供が笑顔で行きかう  
まち（あいさつできる）  
・となり近所が声をかけ  
あうまち（つながり）

社会課題解決中の今が  
可視化されている

暮らしがよくなっている具合が  
データで可視化されて

経済的な豊かさと  
心の豊かさの両立

課題解決中、活動につながっている  
人の割合がヒートマップでいつも  
見れる状態になっている

1つのチャレンジを10年は見  
守るのがあたりまえ

全市民投資家

つながり→笑顔（しあわせ）  
あふれている状態

## 3-4. 基本構想のキーワード

### 【将来像キーワード】

# えすこに／豊かさ／地域（自治）

#### 【解説】

えすこに：多様性を尊重し、自然や次の世代にとっても良い状態。

豊かさ：先人から引き継いだ多くの恵みとともに、物心ともに満たされている暮らしがある状態。

地域（自治）：暮らしの舞台である地域やコミュニティが元気な状態。

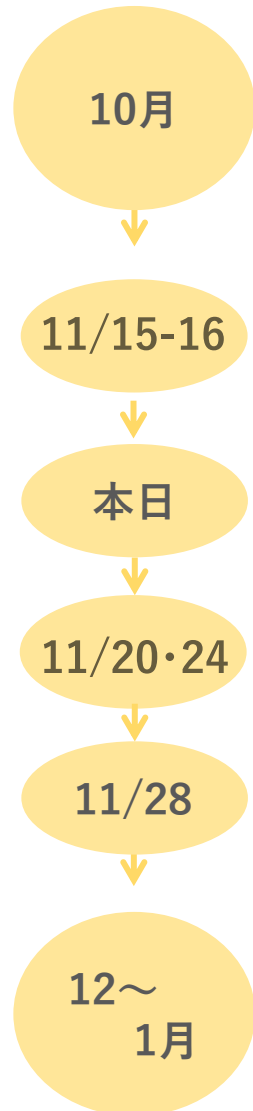
### 【基本理念キーワード】

# つながり／チャレンジ

#### 【解説】

人と人とのつながり、人と自然とのつながり（食、エネルギー）、過去から現在へのつながり（神話、たたら文化）、現在から次の世代へのつながり（教育、サステナビリティ）、外とのつながり（人材還流）、つながっている安心感・・・などを大切にすると同時に、変えるべきものを勇気をもって変える挑戦（チャレンジ）を大切にする。

# 今後の流れ



●市長ほか三役への中間報告

●第1回庁内作業部会（GL・SL級）

●第2回まちづくりワークショップ（市民向け）

●第1回政策戦略会議（検討状況の報告・意見交換）

第2回庁内作業部会（次長・課長級）

11/17 第8回総合計画策定委員会 ⇒ 基本構想の素案のまとめ

総務常任委員会・全協（検討状況の報告・意見交換）

第2回政策戦略会議 ⇒ 素案の庁議決定

12/15 総務常任委員会（素案の説明・意見交換）

1/中旬～下旬 タウンミーティング（6町単位）